

草津市文化芸術機能等施設整備基本計画の
見直しについて（案）

令和〇年〇月 草津市

目次

I	見直しの趣旨、背景	1
II	歴史伝統館機能整備の課題と見直しの方向性	2
III	見直し結果	3
	資料編	4

1 見直しの趣旨、背景

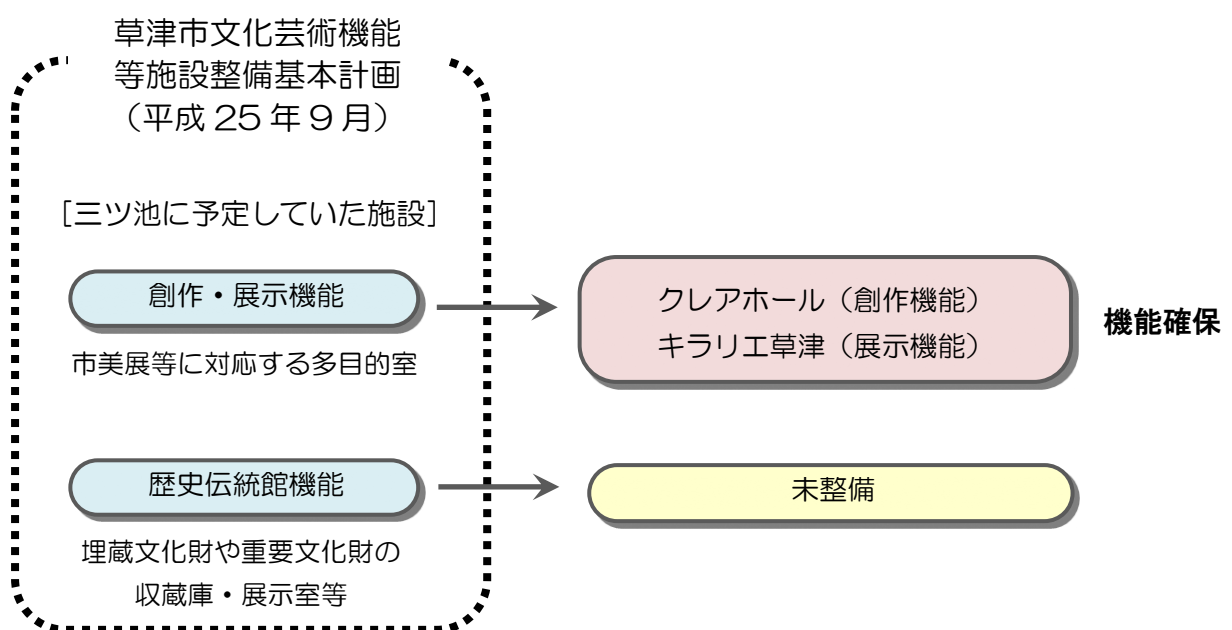
草津市では、平成 25 年 9 月に草津市文化芸術機能等施設整備基本計画（以下、「基本計画」という。）を策定しました。基本計画では、県立しが県民芸術創造館（以下、「創造館」という。）や草津アマカホール（以下、「アマカホール」という。）、草津宿街道交流館等の既存施設との連携を図りながら、市美術展覧会・青少年美術展覧会（以下、「市美展等」という。）に対応できる「創作・展示機能」と、文化財等を収蔵・保管・展示する「歴史伝統館機能」の両機能を持つ施設の整備を三ツ池に計画しました。

その後、「創作・展示機能」については、県から創造館の移管を受け、平成 27 年 1 月に草津クレアホール（以下、「クレアホール」という。）として開館し、平成 30 年 7 月には創作活動をはじめ多目的に利用できる活動室を整備し、令和 3 年 5 月にはキラリエ草津（市民総合交流センター）に市美展等を開催できる展示機能を整備しました（資料編参照）。

一方「歴史伝統館機能」については、平成 31 年 3 月に策定した草津市歴史文化基本構想において、「歴史資産を展示・公開・活用する施設は、関連文化財群の整備と併せて、保存・公開施設を配置する方法などが考えられることから、今後の整備にあたり適切な方法を検討する」と示されました。

このことから、基本計画に予定していた三ツ池における施設の整備について、見直しを行う必要が生じました。

□整備を予定していた機能と現在の状況



II 歴史伝統館機能整備の課題と見直しの方向性

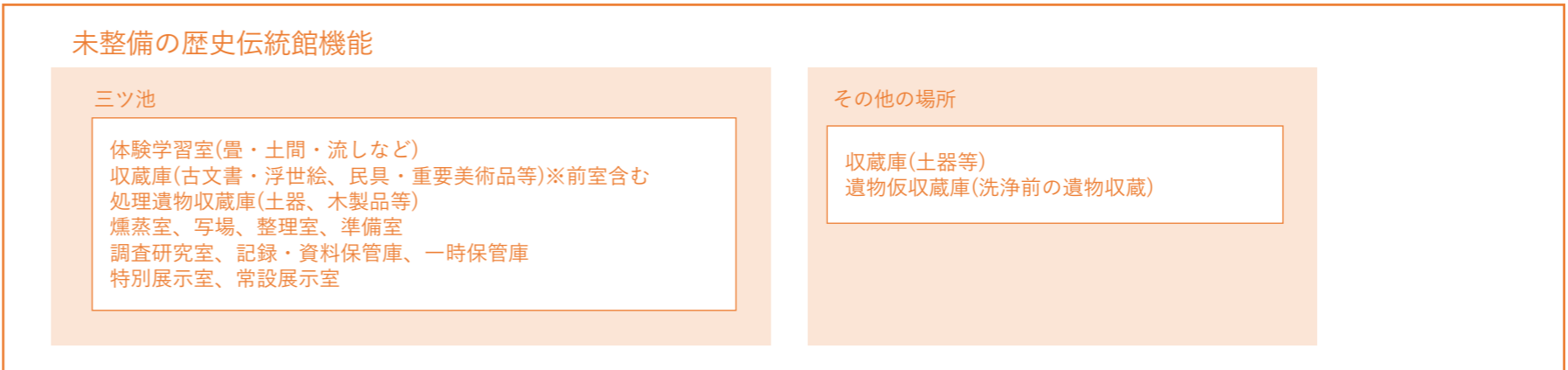
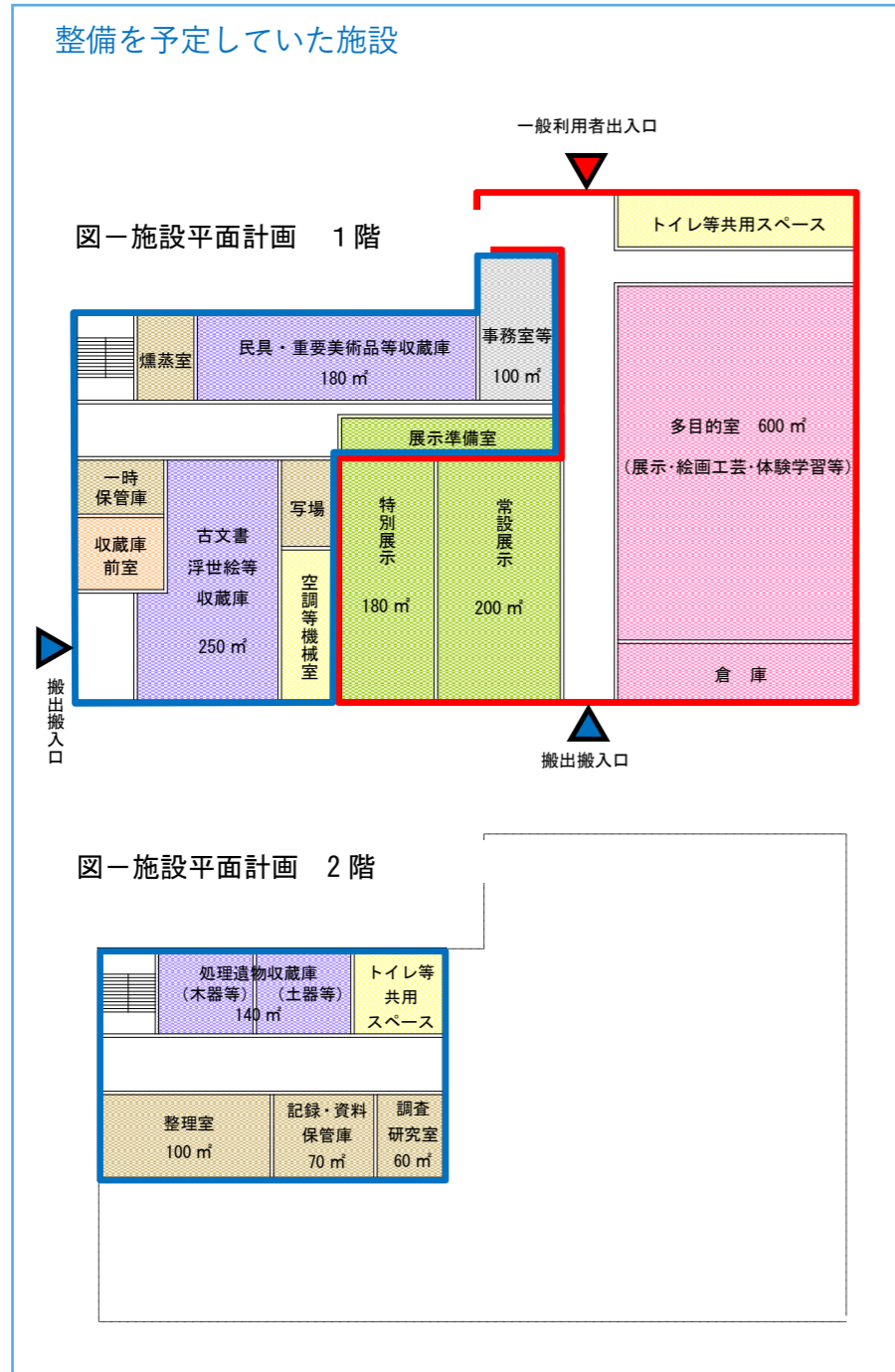
(仮称)生涯学習センター・総合福祉ゾーン整備基本構想の策定を受けて取得した三ツ池における機能整備は、その後の分散整備により概ね完了しました。残る歴史伝統館機能について、単独で整備しても本市の歴史資産とは関連性が薄く、公共交通機関が整備されていない三ツ池の地では集客面等で課題があります。

草津市歴史文化基本構想においては、草津市の歴史文化について大きく3つのテーマ(生産・信仰・街道)に整理し、歴史資料を展示・公開・活用する施設については、それぞれの特徴の中核となる関連文化財群と併せて設置する方法があると示されています。これは、全国の主な公立の歴史系博物館・資料館と同様、史跡等の近辺に整備する相乗効果によって、高い学習効果や集客力を生み出し、文化財の保存と活用を図るこ

とができるためです。また、現在、本市には史跡草津宿本陣の近くに草津宿街道交流館があり、互いに連携したイベント等の開催や学習効果を高める仕掛けづくりが行われています。

このようなことから、歴史伝統館機能を備えた施設は、史跡等とは関連のない三ツ池に単独で整備するより、本市の文化財の特徴である歴史文化の3史跡(史跡芦浦観音寺跡・史跡草津宿本陣・史跡野路小野山製鉄遺跡)の近辺において、それぞれの特色に応じた機能を有する施設を整備の方が効果的です。

ただし、整備にあたっては、社会情勢の変化やアクセスを含めた適地の検討・取得、費用対効果、指定管理等を含む運営組織、地域経済や地域社会の活性化、整備時期等の課題についての調査・研究が必要です。



III 見直し結果

基本計画のうち、三ツ池に整備しようとしていた下記の内容について見直すものとし
ます。

創作・展示機能等

キラリエ草津へ展示機能を備えた会議室を整備し、クレアホールの活動室の貸館を開始
して創作機能を確保したことから、三ツ池に創作・展示機能の施設整備を行わないものとし
ます。

なお、創造館（現：クレアホール）・アミカホールに予定していた練習機能の確保（防音
改修）は、一定できているものの（資料編参照）、今後も必要に応じて取り組むものとし
ます。

歴史伝統館機能

歴史資産を展示・公開・活用する施設については、関連文化財群（生産・信仰・街道）の
近辺において整備することが有効であることから、三ツ池に歴史伝統館機能の施設整備を
行わず、今後、別途検討するものとし
ます。

三ツ池の利活用

今後、別途検討するものとし
ます。

資料編

芸術文化館機能について（これまでの整備状況）

※稼働率は特に注記のない限り、コロナの影響がないH30年度を記載

計 画

創作・展示機能

〔三ツ池〕

市美展・青美展に対応する多目的室の整備

□美術展覧会にも対応できる展示機能（600㎡程度）

□絵画、工芸等の創作機能

練習機能

〔創造館（現：クリアホール）〕

①練習室の防音改修

- ・練習室1 96㎡
- ・練習室2 42㎡
- ・練習室3 42㎡

②リハーサル室の防音間仕切改修

- ・リハーサル室 142㎡

③展示ホールの防音間仕切改修

- ・展示ホール 324㎡

〔アミカホール〕

④文化教室2、研修室の防音改修

- ・文化教室2 77㎡
- ・研修室 109㎡

現 在

創作・展示機能

機能確保済

□新たに整備した施設

展示機能



■キラリエ草津

大会議室（414㎡）
502 会議室（99㎡）
503 会議室（117㎡）
令和3年度に貸館開始

稼働率：28.0%

※稼働率は令和3年5月～6月平均（大会議室）

創作機能



■クリアホール

活動室（96㎡）
平成30年度に貸館開始
令和4年度に防音改修

稼働率：24.3%

□既存施設

創作機能



■アミカホール

文化教室2（77㎡）

稼働率：47.1%

創作機能



■市民交流プラザ

創作室（28㎡）

稼働率：51.1%

※その他、地域まちづくりセンター、県立長寿社会福祉センターも利用可

練習機能

機能確保済

クリアホールの防音間仕切改修等は、一部未改修ですが、新たに整備した施設があり、既存施設の稼働率にも余裕があることから、これらの施設の活用を図ることで機能を確保できます。

□新たに整備した施設



■①クリアホール

練習室1（42㎡）※旧練習室2
平成26年度に防音改修
平成26年度に貸館開始

稼働率：60.2%



■①クリアホール

練習室2（42㎡）※旧練習室3
平成26年度に防音改修
平成26年度に貸館開始

稼働率：45.5%



■①クリアホール

活動室（96㎡）※旧練習室1
平成30年度に貸館開始
令和4年度に防音改修

稼働率：24.3%

ピアノ設置済



■②クリアホール

リハーサル室（142㎡）
平成26年度に貸館開始
※防音間仕切未改修

稼働率：67.1%



■③クリアホール

展示ホール（324㎡）
平成26年度に防音改修
平成26年度に貸館開始
※防音間仕切未改修

稼働率：55.9%



■キラリエ草津

501 会議室（112㎡）
令和3年度に貸館開始

稼働率：38.5%

※稼働率は令和3年5月～6月平均

□既存施設



防音

■市民交流プラザ

音楽室（66㎡）

稼働率：43.1%



防音

■アミカホール

リハーサル室（42㎡）

稼働率：67.1%

※その他、地域まちづくりセンター、草津コミュニティ支援センターも利用可



■④アミカホール
文化教室2（77㎡）

稼働率：47.1%



■④アミカホール
研修室（109㎡）

稼働率：43.8%

草津市文化振興審議会 委員名簿

区分	氏名	備考	部会
学識経験を有する者	中川 幾郎〔会長〕	帝塚山大学	
	松本 茂章〔副会長〕	静岡文化芸術大学	
	糸乗 前〔部会長〕	滋賀大学	○
関係する団体から選出された者	五十川 伸矢	草津市文化財保護審議会	○
	澤 孝子	(公財)草津市コミュニティ事業団	
	園田 実乗	(特非)草津市中心身障害児者連絡協議会	
	寺村 裕加子	Biwartist	
	中村 徹	草津市21世紀文化芸術推進協議会	○
	成田 陽子	草津市教科等部会別研修図工・美術部会	
	久泉 次郎	山田学区まちづくり協議会	○
	古川 弘美	三ツ池財産区管理会	○
公募市民	安積 由里子	公募市民	
	宇野 裕美	公募市民	
	中村 敏枝	公募市民	○
その他教育委員会が必要と認める者	小寺 正宣	前検討委員会委員	○

審議経過

	開催日／会場	主な審議事項
第1回 審議会	令和3年9月17日（金） 市役所8階大会議室	(1) 部会の設置 (2) 部会委員および部会長の選出 (3) 見直しにかかる方針
第1回 文化芸術機能等 検討部会	令和3年10月19日（火） 市役所2階特大会議室（エレベーター側）	(1) 草津市文化芸術機能等施設基本計画の概要 (2) 芸術文化館機能 (3) 歴史伝統館機能
第2回 文化芸術機能等 検討部会	令和3年11月8日（月） 草津アマカホール研修室	(1) 草津市文化芸術機能等施設整備基本計画の 見直しについて
第2回 審議会	令和4年1月21日（金） 草津アマカホール研修室	(1) 草津市文化芸術機能等施設整備基本計画の 見直し（案）の最終確認
答申	令和4年1月21日（金） 市政談話室	—